



## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月4日

上場会社名 三光合成株式会社  
 コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 2019年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	41,108	△6.1	1,388	△30.3	1,178	△35.8	729	△44.3
2018年5月期第3四半期	43,757	7.0	1,990	25.8	1,834	11.8	1,309	23.4

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 852百万円 (△40.6%) 2018年5月期第3四半期 1,436百万円 (81.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	24.96	—
2018年5月期第3四半期	51.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	48,555	19,693	39.4	628.22
2018年5月期	45,649	16,961	36.0	644.54

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 19,150百万円 2018年5月期 16,425百万円

(注) 2018年5月期の連結財政状態は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及適用しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2019年5月期	—	7.00	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	60,000	2.8	2,900	1.9	2,500	△4.7	1,700	△8.0
								57.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.7「(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年5月期3Q	30,688,569 株	2018年5月期	25,688,569 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年5月期3Q	204,590 株	2018年5月期	204,497 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年5月期3Q	29,222,259 株	2018年5月期3Q	25,484,150 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得に改善が見られ堅調に推移いたしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題もあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は41,108百万円（前年同期比6.1%減）となり、利益面におきましては、営業利益は1,388百万円（前年同期比30.3%減）、経常利益は1,178百万円（前年同期比35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は729百万円（前年同期比44.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

成形品部門における車両用内外装部品の増加はありましたが、金型の減収が影響し、売上高は18,026百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は953百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

## ② 欧州

金型の増加はありましたが、車両用内外装部品の受注減により、売上高は5,872百万円（前年同期比9.2%減）、セグメント利益は538百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

## ③ アジア

成形品部門における車両用内外装部品及び金型の減収が影響し、売上高は13,208百万円（前年同期比4.7%減）となり、セグメント利益は413百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

## ④ 北米

車両用内外装部品における得意先の内製化による受注減少と金型の減収が影響し、売上高は4,000百万円（前年同期比24.9%減）となり、セグメント損失は51百万円（前年同期はセグメント利益176百万円）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	5,019	6.9
	車両	26,726	△5.2
	家電その他	2,804	13.7
成形品計		34,550	△2.3
金型		6,557	△21.9
合計		41,108	△6.1

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、48,555百万円（前連結会計年度末比2,905百万円増）となりました。これは、現金及び預金が1,246百万円、有形固定資産が1,263百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、28,861百万円（前連結会計年度末比173百万円増）となりました。これは、短期借入金が2,988百万円減少し、長期借入金が3,153百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、19,693百万円（前連結会計年度末比2,732百万円増）となりました。これは、公募による新株式発行により資本金及び資本準備金が1,123百万円それぞれ増加、利益剰余金が363百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2018年7月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,898	8,145
受取手形及び売掛金	12,069	12,057
商品及び製品	958	932
仕掛品	1,924	2,244
原材料及び貯蔵品	693	929
その他	1,701	1,833
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,245	26,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,251	6,491
機械装置及び運搬具(純額)	7,863	8,174
工具、器具及び備品(純額)	876	900
土地	4,471	4,575
建設仮勘定	368	952
有形固定資産合計	19,832	21,096
無形固定資産		
のれん	205	186
その他	410	416
無形固定資産合計	616	603
投資その他の資産		
投資有価証券	395	24
その他	865	690
貸倒引当金	△29	—
投資損失引当金	△276	—
投資その他の資産合計	955	715
固定資産合計	21,404	22,414
資産合計	45,649	48,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,293	9,322
短期借入金	5,438	2,450
1年内返済予定の長期借入金	2,526	2,840
1年内償還予定の社債	230	150
未払法人税等	215	265
賞与引当金	169	134
役員賞与引当金	36	—
その他	3,790	3,918
流動負債合計	21,702	19,082
固定負債		
社債	375	300
長期借入金	3,821	6,661
役員退職慰労引当金	23	23
退職給付に係る負債	956	905
その他	1,809	1,889
固定負債合計	6,986	9,779
負債合計	28,688	28,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	4,008
資本剰余金	2,964	4,087
利益剰余金	12,095	12,458
自己株式	△43	△43
株主資本合計	17,901	20,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△3
退職給付に係る調整累計額	△360	△306
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△1,112	△1,050
その他の包括利益累計額合計	△1,476	△1,360
非支配株主持分	535	542
純資産合計	16,961	19,693
負債純資産合計	45,649	48,555

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	43,757	41,108
売上原価	36,877	34,772
売上総利益	6,879	6,336
販売費及び一般管理費	4,888	4,948
営業利益	1,990	1,388
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	26
受取賃貸料	45	47
為替差益	31	—
その他	106	52
営業外収益合計	208	126
営業外費用		
支払利息	195	178
持分法による投資損失	29	—
為替差損	—	36
その他	139	121
営業外費用合計	364	336
経常利益	1,834	1,178
特別利益		
固定資産売却益	5	10
国庫補助金	25	38
投資損失引当金戻入額	20	—
特別利益合計	50	48
特別損失		
固定資産除却損	28	23
固定資産売却損	7	4
関係会社株式売却損	—	16
スワップ差損	27	82
固定資産圧縮損	25	38
特別損失合計	89	165
税金等調整前四半期純利益	1,796	1,061
法人税、住民税及び事業税	469	287
過年度法人税等	—	40
法人税等合計	469	327
四半期純利益	1,326	734
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,309	729

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	1,326	734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	10	64
退職給付に係る調整額	88	54
持分法適用会社に対する持分相当額	9	—
その他の包括利益合計	109	118
四半期包括利益	1,436	852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,414	845
非支配株主に係る四半期包括利益	21	7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年8月7日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ827百万円増加しております。また、2018年8月7日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ171百万円増加しております。さらに、2018年8月24日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ124百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金が1,123百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,008百万円、資本準備金が3,860百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、新たに設立した「東莞三樺塑膠有限公司」を連結の範囲に含めております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

①連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間に、新たに設立した「東莞三華塑膠有限公司」を連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間に、持分法適用関連会社「PERMINTEX SANKO TECHNOLOGIES SDN. BHD.」の全株式を売却したことにより、持分法の対象より除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用)

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)を第1四半期連結会計期間から適用し、個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを見直しております。また、当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表は、遡及適用を行う前と比べて、繰延税金負債が215百万円減少し、利益剰余金が215百万円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,092	6,468	13,866	5,329	43,757	—	43,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,767	36	567	4	2,375	△2,375	—
計	19,859	6,505	14,433	5,334	46,132	△2,375	43,757
セグメント利益	1,087	646	556	176	2,467	△476	1,990

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△512百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,026	5,872	13,208	4,000	41,108	—	41,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,853	11	774	1	2,642	△2,642	—
計	19,880	5,884	13,983	4,002	43,750	△2,642	41,108
セグメント利益又は損失(△)	953	538	413	△51	1,853	△465	1,388

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△490百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。